



パリ市庁舎

パリ市と東京都は、今年、友好都市提携40周年を迎えます。「オテル・ド・ヴィル (Hotel de Ville)」と呼ばれるパリ市庁舎は、14世紀に建設されたネオ・ルネサンス様式の重厚かつ壮麗な建物です。19世紀末のフランス革命で一度は焼失したものの、600年以上にわたる歴史を持ち、「自由・平等・博愛」というフランスの象徴とされる言葉が正面の時計の下に刻まれています。現在、市庁舎前の広場には、2024年のパリオリンピック・パラリンピック競技大会のモニュメントが設置されています。



世界の地域から

パリ (フランス)



セーヌ川のほとりから見るエッフェル塔

パリ市の象徴的な名所となっているエッフェル塔の名称は、設計および建設者であるギュスターヴ・エッフェルに由来しています。パリ万国博覧会 (1889年) を機に、約2年間という驚異的な速さで建設されました。2017年には延べ来場者数が3億人を突破するなど、パリを訪れる多くの人々に親しまれています。エッフェル塔を含むセーヌ川の河岸は、世界文化遺産として登録されています。